

中国（天津）自由貿易試験区管理委員会との 業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）およびみずほ銀行（中国）有限公司は、本日、中国（天津）自由貿易試験区管理委員会（以下、「管理委員会」）との間で業務協力覚書を締結しました。

天津市は渤海湾に面した港湾都市であり、北京を中心とする中国北東部経済圏の外洋港としての役割を担っています。従来からの石油化学、港湾関連産業に加え、近年では自動車関連、携帯電話関連産業等が集積しているエリアです。中国（天津）自由貿易試験区は、上海に続く自由貿易試験区として、昨年 12 月に全国人民代表大会常務委員会にて設立認可を受け、本年 4 月に設立されました。今後は、周辺エリアの北京や河北省を含めた大首都圏経済圏の一体化とその発展に向けた推進役として期待されています。

本覚書は、中国（天津）自由貿易試験区への規制緩和にかかわるアドバイスや情報交換等の相互協力を行うことを目的としています。〈みずほ〉は、本覚書の締結により、管理委員会と連携しながら、注目される中国の規制緩和にかかわる最新情報へのアクセスを深め、同地域へ進出しているお客さまへの各種アドバイスや進出を検討しているお客さまへの投資環境案内、進出時の各種サポートを一層強化していきます。

（ご参考）中国（天津）自由貿易試験区の概要

位置づけ	京津冀（※）共同発展のための対外開放プラットフォーム （※）「京津冀」：北京市、天津市、河北省の総称
総面積	119.9 k m ²
エリア区分（面積）と 各エリアの特性	● 天津港エリア（30 k m²） サービス業（航運・物流やファイナンスリース等）の発展 ● 天津空港エリア（43.1 k m²） ハイテク産業（航空宇宙産業や設備製造、次世代情報技術等）と サービス業（研究開発・設計、航空物流等）の発展 ● 濱海新区 CBD（Central Business District）エリア（46.8 k m²） 金融を中心とするサービス業の発展
主な独自政策と 金融改革	● 行政管理体制の改革 ● 金融制度の革新 ● 金融市場の開放 ● 国家リース革新モデル区域の建設 ● 京津冀地域の産業転換・高度化の促進

以 上